

## 2022(令和4)年度 卒業時アンケート調査報告

## 1. アンケート実施・回答状況

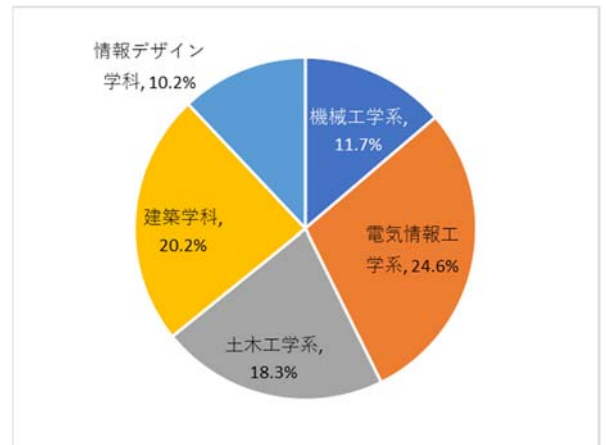
(1)実施期間：2022(令和4)年07月25日(月)～2022(令和4)年08月31日(水)

2023(令和5)年01月05日(木)～2023(令和5)年03月31日(金)

(2)実施方法：A Portal によるアンケート調査

(3)回答状況：

	卒業生数	回答者数	回答率 (学科・系別)	回答率
機械工学系	70	48	68.6%	11.7%
電気情報工学系	117	101	86.3%	24.6%
土木工学系	88	75	85.2%	18.3%
建築学科	91	83	91.2%	20.2%
情報デザイン学科	44	42	95.5%	10.2%
合計	410	349	85.1%	85.1%



## 2. アンケート項目(全部で37項目)

## 1. 満足度について

1-1. 本学に入学して良かったと感じますか。

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまり思わない  
④思わない

1-2. 本学への入学について、「あまり思わない」「思わない」と解答した方は、その理由・ご意見がございましたら記入ください。

1-3. 本学の教育（授業・指導等）について満足していますか。

- ①とても満足している ②やや満足している  
③あまり満足していない ④満足していない

1-4. 本学の教育（授業・指導等）について、「あまり満足していない」「満足していない」と解答した方は、その理由・ご意見がございましたら記入ください。

1-5. 学生生活や友達との出会いについて満足していますか。

- ①とても満足している ②やや満足している  
③あまり満足していない ④満足していない

1-6. 学生生活や友達との出会いについて、「あまり満足していない」「満足していない」と解答した方は、その理由・ご意見がございましたら記入ください。

1-7. 学修に関わる施設、設備、備品について満足していますか。

- ①とても満足している ②やや満足している  
③あまり満足していない ④満足していない

1-8. 施設・設備・備品等について、「あまり満足していない」「満足していない」と解答した方は、その理由・ご意見がございましたら記入ください。

## 2. 在学中に力を入れたことについて

下記項目についてどの程度、力をいれて取り組みましたか。

- ・大学の勉強・学修
- ・研究活動
- ・クラブ・サークル活動
- ・資格の取得
- ・ボランティア活動
- ・友人作り
- ・進学・就職活動
- ・アルバイト

- ①かなり力をいれて取り組んだ ②やや力をいれて取り組んだ

③あまり力をいれて取り組まなかった

④ほとんど力をいれて取り組まなかった

## 3. 成長の実感について

大学での授業や活動を通して、どの程度自分自身が成長したと感じますか。

- ①かなり成長したと感じる ②やや成長したと感じる  
③あまり成長したとは感じない ④成長したとは感じない

4. 大学での授業や活動を通して、どの程度、次の力を身につけることができたと思いますか。

- ・多様な人とコミュニケーションする力
- ・主体的・積極的に物事に取り組む力
- ・他者と協働する力
- ・原因を追究し課題解決する力
- ・創意工夫する力
- ・専攻分野の専門的知識を活用する力
- ・幅広い知識・教養を活用する力

①とても身についたと思う ②やや身についたと思う

③あまり身についたとは思わない ④身についたとは思わない

## 5. 卒業後の進路について

5-1. 卒業後の進路について満足していますか。

- ①とても満足している ②やや満足している  
③あまり満足していない ④満足していない

5-2. 就職活動や進路を決めるプロセスはどれくらい納得できるものだったか。

- ①とても納得している ②やや納得している  
③あまり納得していない ④納得していない

5-3. 就職活動等への支援について満足していますか。

- ①とても満足している ②やや満足している  
③あまり満足していない ④満足していない

5-4. 卒業後の進路に対する不安はありますか。

- ①かなり不安である ②やや不安である  
③あまり不安ではない ④不安ではない

5-5. 卒業後は、企業に就職しますか。

①はい → 設問5-6へ

②いいえ → 設問6へ

5-6. 企業を就職先として絞り込む際、最初にどのような手順で行いましたか。

- ① 業界・業種を絞ってから企業を調べた
- ② 職種を絞ってからその仕事ができそうな企業を調べた
- ③ 自分の知っている有名企業から調べた
- ④ 就職指導委員・卒研担当教員の推薦企業から調べた

5-7. 企業を個別に比較検討していく場合、何を重視しましたか(回答3つまで)。

- ①自分が成長できるか ②専攻を生かせるか
- ③技術開発のレベル ④売れている製品を作っているか
- ⑤年収 ⑥休日・休暇 ⑦福利厚生 ⑧企業規模
- ⑨企業の成長性 ⑩企業の安定性 ⑪企業の収益性
- ⑫社風 ⑬勤務地 ⑭OBの数

5-8. 会社選択についての情報はどこから得ましたか(回答3つまで)。

- ①大学の就職情報 ②リクナビ ③マイナビ
- ④業界地図・会社四季報 ⑤その他

5-9. 就職について誰の意見を尊重しましたか。

- ①父母 ②兄弟 ③親類 ④就職指導委員
- ⑤卒研担当教員 ⑥OB ⑦友人

5-10. 面接試験であなたは自分のどんな点をアピールしましたか。

- ①学業成績 ②専攻科目の知識 ③特技・資格 ④体力
- ⑤性格・適性 ⑥協調性 ⑦バイタリティ
- ⑧サークル活動 ⑨自己の成長性

5-11. 入社が決定した会社の志望順位を教えてください。

- ①第一志望 ②第二志望 ③第三志望 ④第四志望以下

5-12. 入社が決定した企業に満足していますか。

- ①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足

5-13. 卒業後の進路について不安はありますか。

- ①かなり不安 ②やや不安
- ③あまり不安ではない ④不安ではない

6. 西日本工業大学について

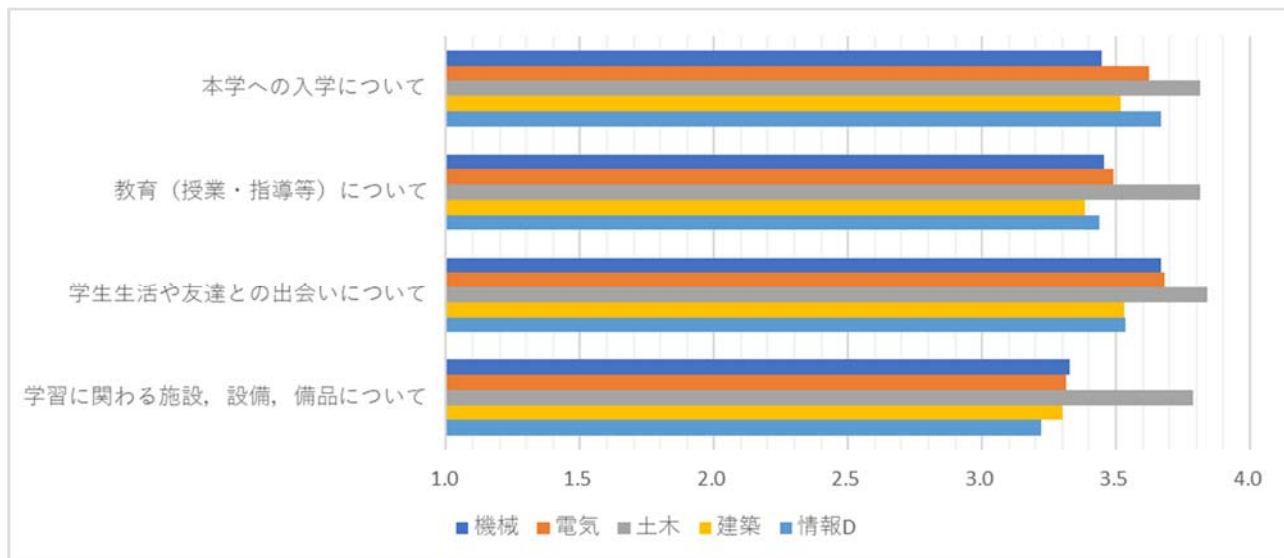
本学についてどのように思っていますか? 当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

- ①歴史や伝統がある ②まじめな学生が多い
- ③活気・活力がある ④自由に学べる
- ⑤落ち着いた雰囲気がある ⑥社会的な評判が良い
- ⑦面倒見が良い ⑧個性を伸ばす教育をしている
- ⑨社会で通用する人間を育てている
- ⑩地域に貢献している ⑪教育・研究水準が高い
- ⑫教職員との距離が近い

### 3. アンケート調査結果

37の質問項目を「満足度に関する質問」の8項目(うち自由記述項目4項目)、「在学中に注力した項目についての質問」の8項目、「成長の実感についての質問」の8項目、「卒業後の進路に関する質問」の4項目、「就職に関する質問」の8項目および「西日本工業大学の印象に関する質問」の1項目に分けて検討する。多くの質問項目は、4段階のリッカート尺度(4: そう思う[たいへん良い], 3: ややそう思う[良い], 2: あまりそう思わない[やや悪い], 1: そう思わない[悪い])で構成されており、その値にもとづく平均値を算出して比較する。

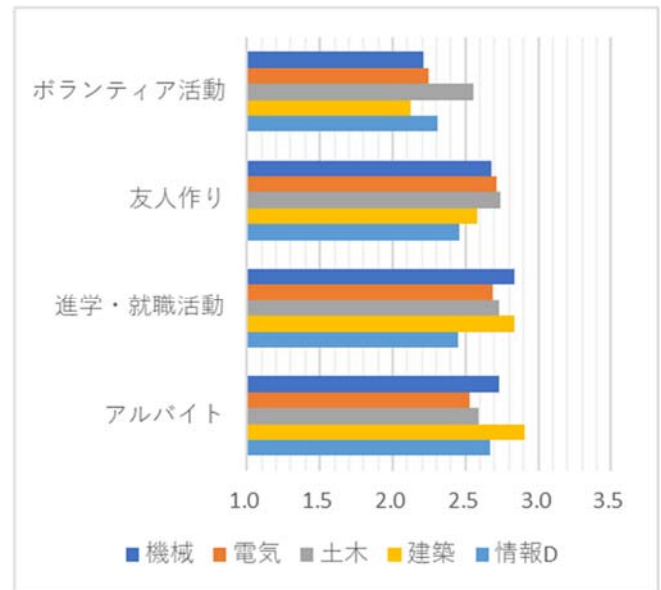
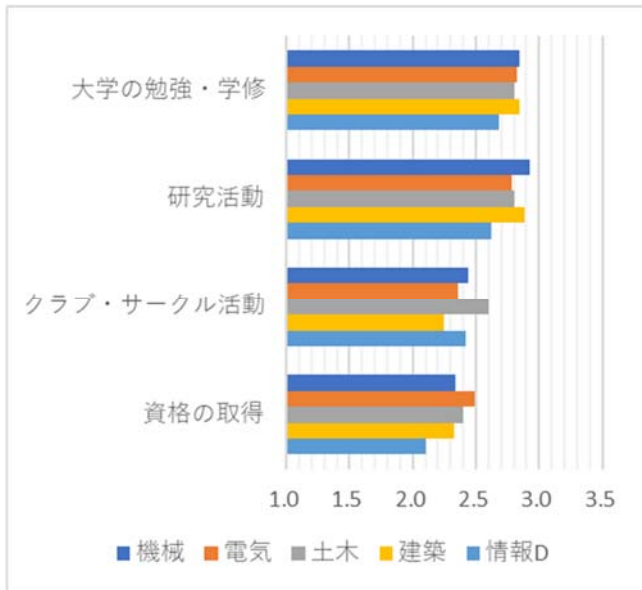
#### (1)満足度



・満足度の高いのは「学生生活や友達との出会い」であり、多くの学生が大学生として有意義な生活を送ることができたことがうかがえる。逆に、「学習に関わる施設、設備、備品」についての満足度が低い。

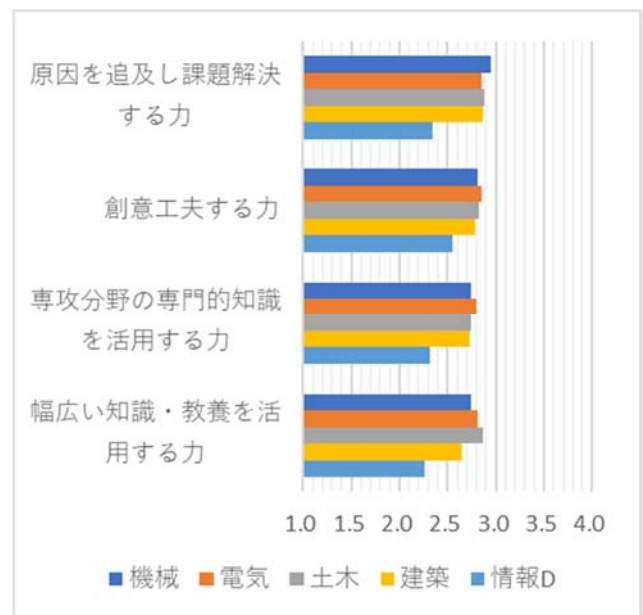
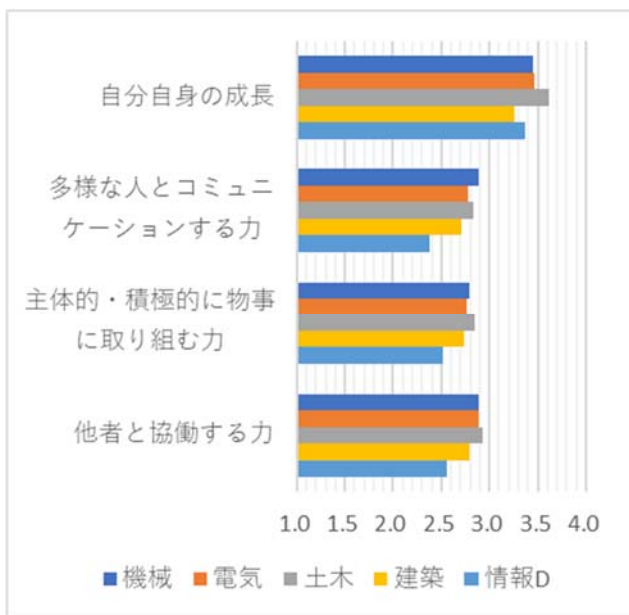
・「本学への入学について」満足している学生は99%、「教育について」満足している学生は99%、「学生生活などについて」満足している学生は97%、「施設、設備、備品について」満足している学生は95%だった。

(2)在学中に注力したこと



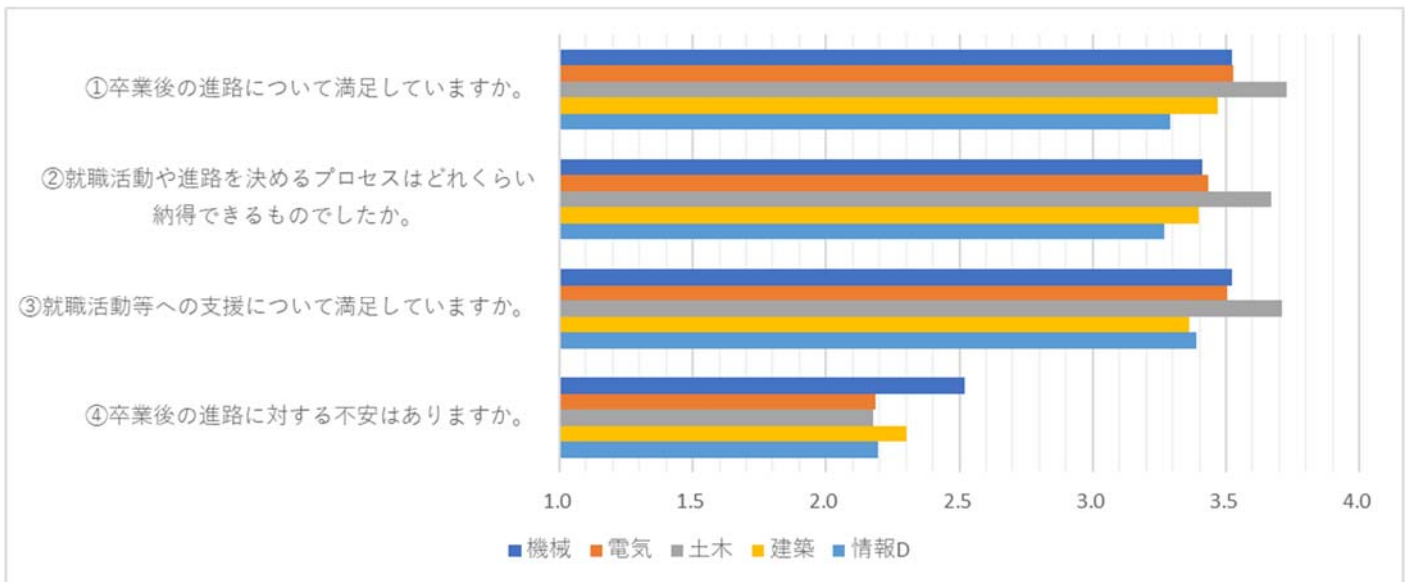
・在学中の注力の度合いが高いのは「研究活動」、「大学の勉強・学修」、「進学・就職活動」であり、一方、低いのは「クラブ・サークル活動」、「資格の取得」、「ボランティア活動」である。

(3)成長の実感



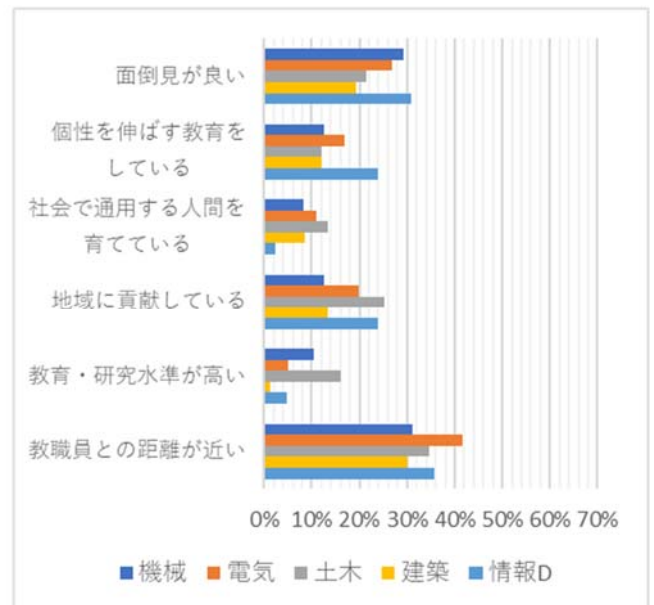
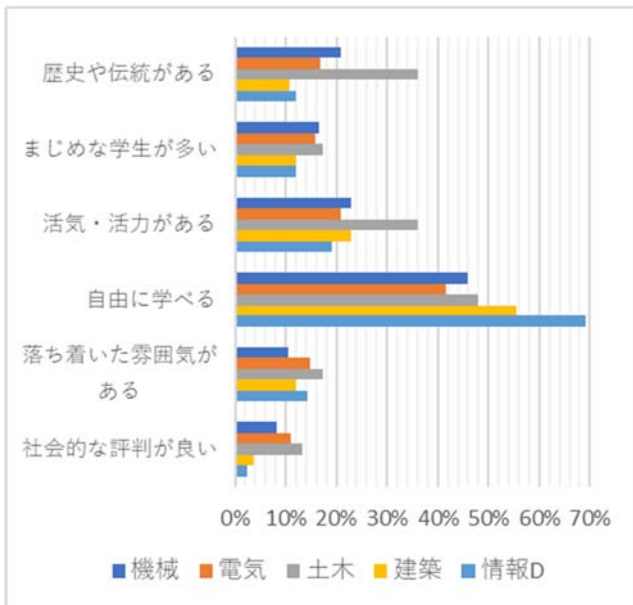
・どの項目においても総じて成長を実感していることが読み取れ、社会人基礎力が培われたことを裏付けるものと判断できよう。

#### (4)卒業後の進路



- ・「卒業後の進路」については、全体的に満足していることが読み取れる。また、「就職活動への支援」に関して同様であり、この点で就活支援に問題はないと言える。
- ・①, ②, ③すべての項目について90%前後の学生が満足している。60%ぐらいの学生がなんらかの不安は感じている。

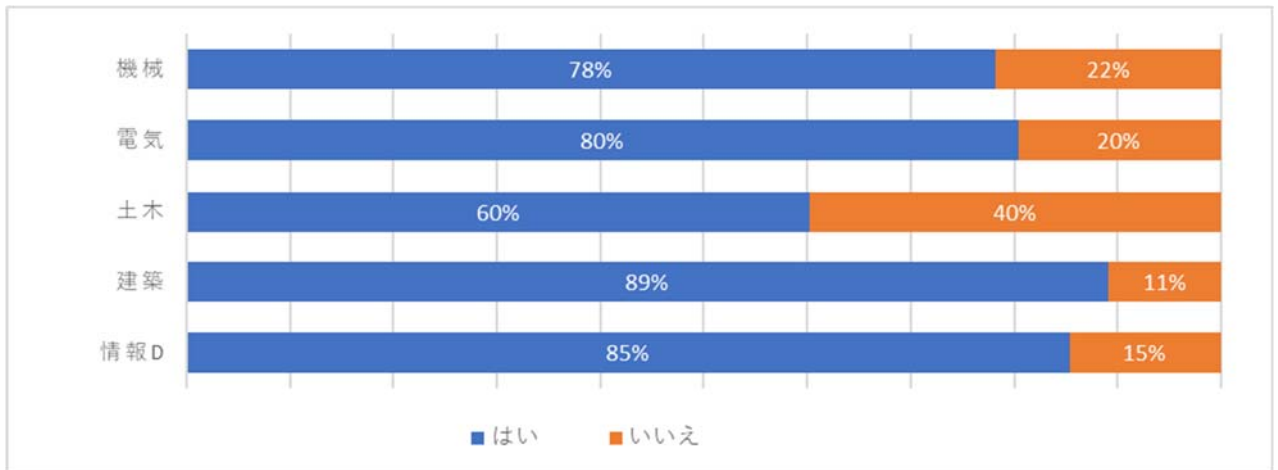
#### (5)西日本工業大学のイメージ



- ・学科・系で卒業生のイメージがかなり異なることがわかるが、総じて「自由に学べる」、「教職員との距離が近い」、「面倒見が良い」が高く評価されている。
- ・逆に、「教育・研究水準が高い」、「社会的な評判が良い」、「社会で通用する人間」が低い評価となっており、今後の教育改革において考慮すべき点であろう。

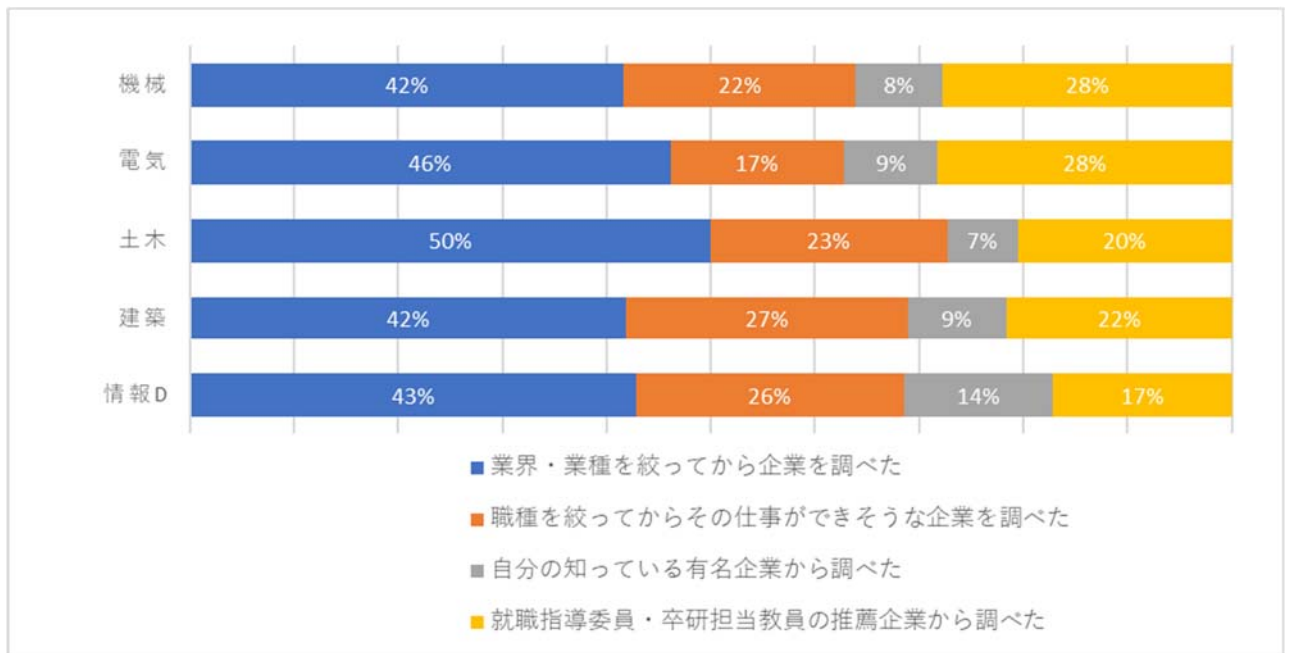
(6)就職について

・卒業後は、企業に就職しますか。



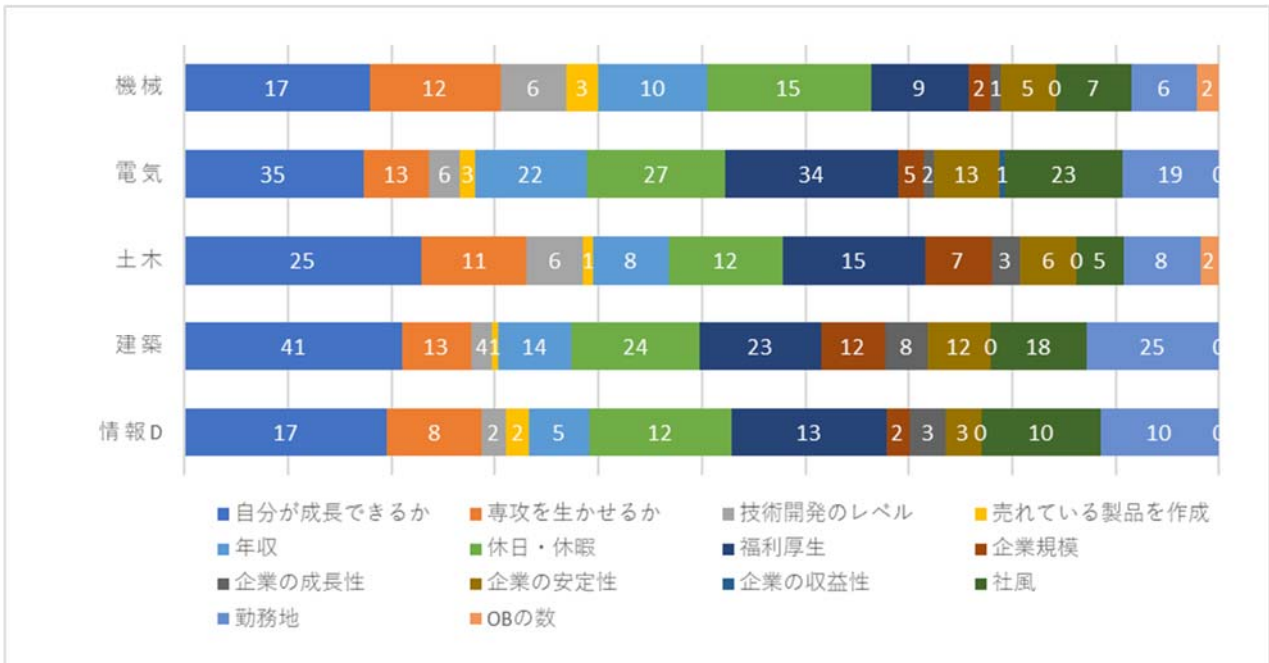
7割以上の学生が企業への就職しており、特にデザイン学部では9割近くが就職している。

・企業を就職先として絞り込む際、最初にどのような手順で行いましたか。

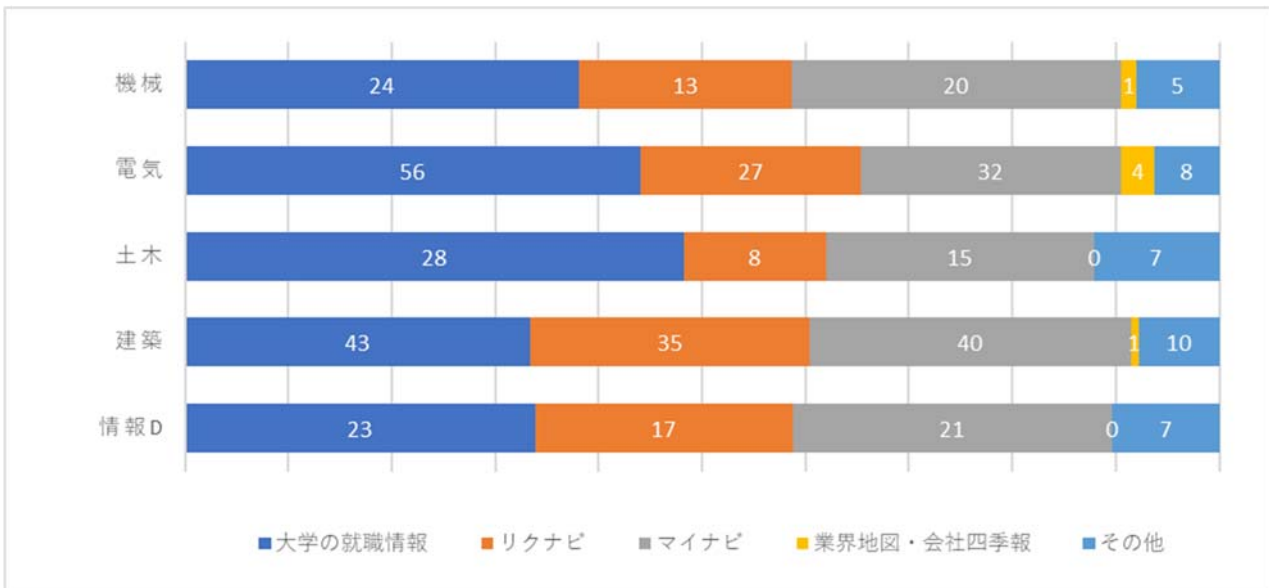


「業界・業種を絞ってから」、または「職種を絞ってから」調べた学生が半分以上を超える。機械工学系と電気情報工学系では就職指導委員、卒研担当教員の推薦企業も3割弱あった。

・企業を個別に比較検討していく場合、何を重視しましたか。



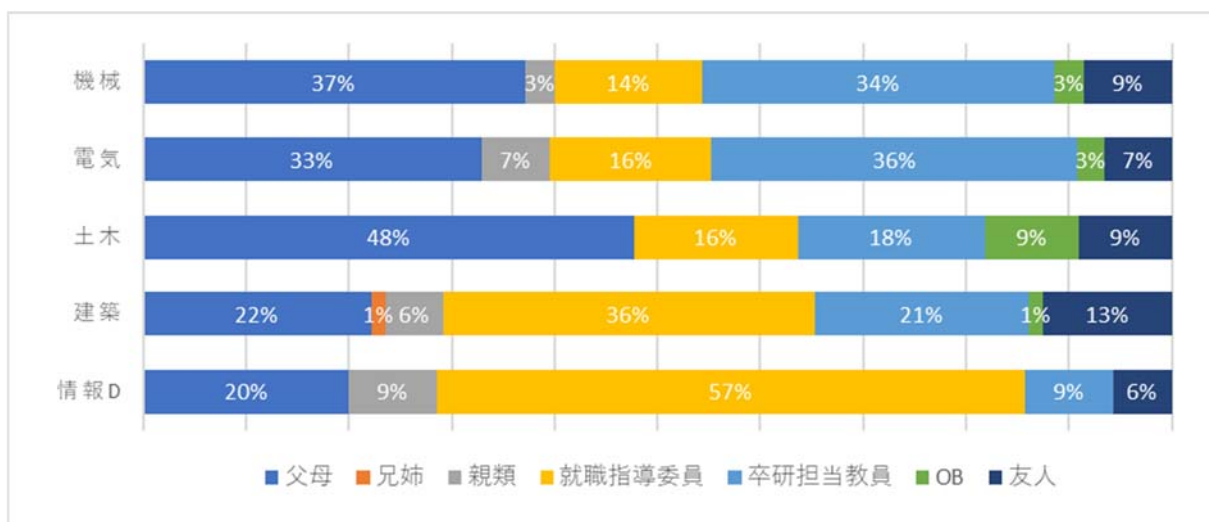
・会社選択についての情報はどこから得ましたか。



工学部では「大学の就職情報」と「リクナビ」、「まいナビ」が拮抗しているデザイン学部では「リクナビ」、「マイナビ」の占める割合が大きい。

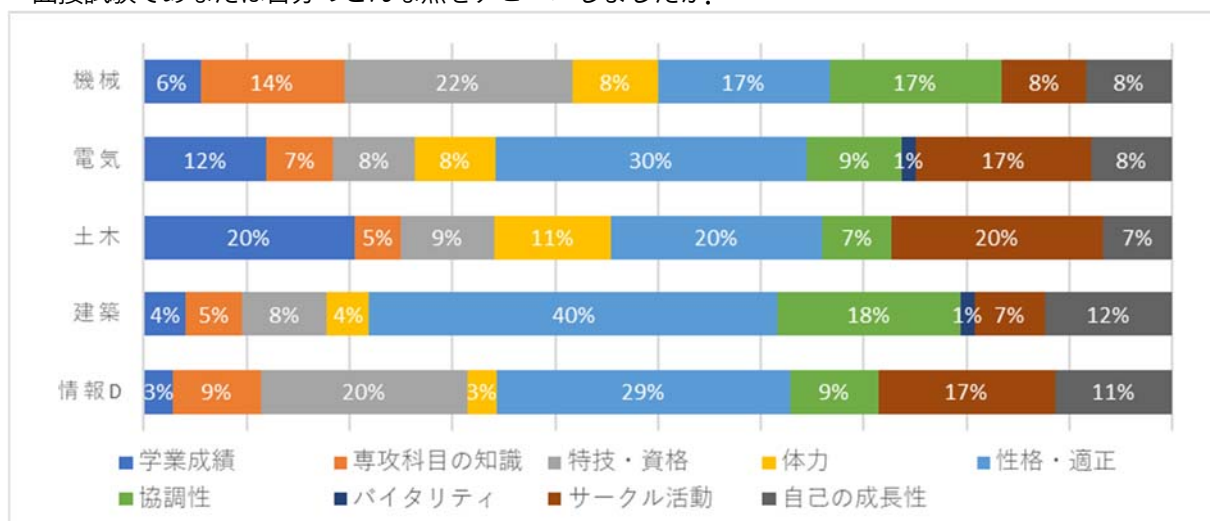


・就職について誰の意見を尊重しましたか。



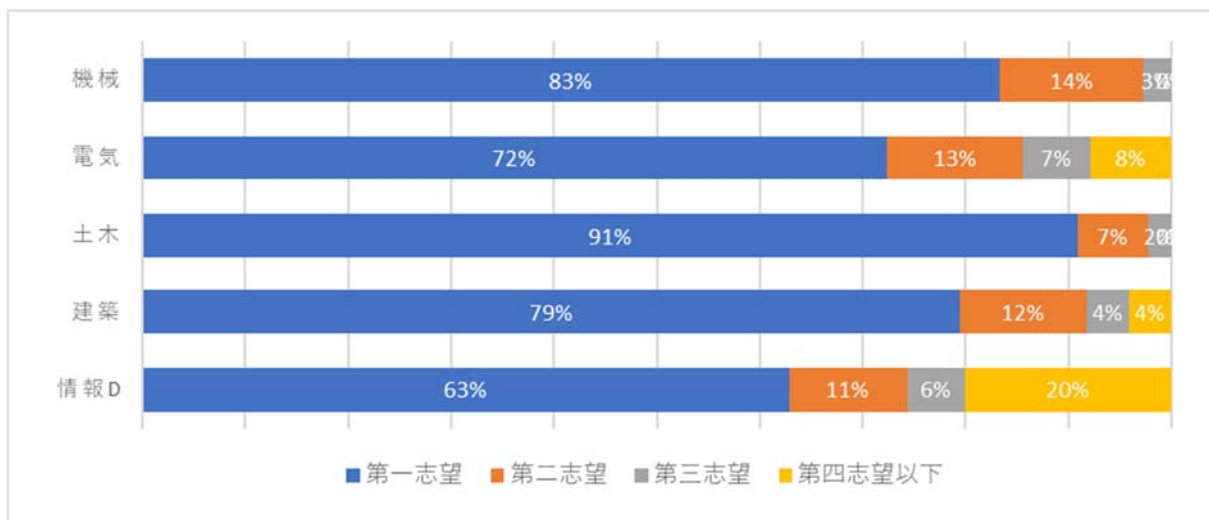
機械工学系、電気情報系、建築学科、情報デザイン学科では「就職指導委員」と「卒研担当教員」の占める割合が大きいですが、土木工学系では「父母」の占める割合が大きい。

・面接試験であなたは自分のどんな点をアピールしましたか。



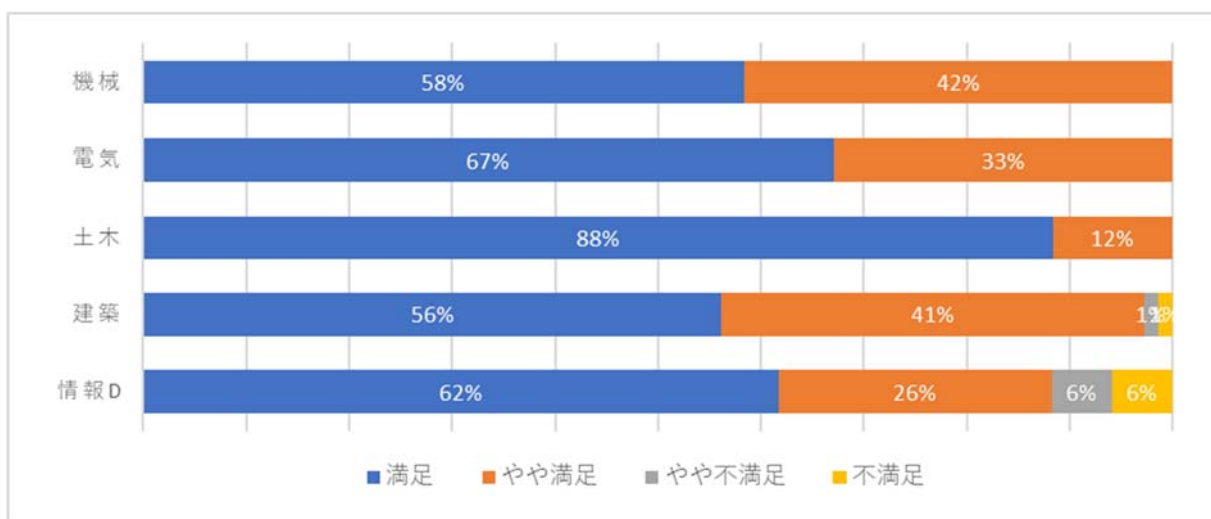
「性格・適性」をアピールしたと答えた学生が多く、特に建築学科ではその傾向が顕著である。機械工学系では「特技・資格」、土木工学系では「学業成績」と「サークル活動」の割合も大きかった。

・入社が決定した会社の志望順位を教えてください。



第一志望と答えた学生が7割を超える。特に機械工学系, 土木工学系, 建築学科では8割前後の学生が第一志望と答えた。

・入社が決定した企業に満足していますか。



9割以上の学生が「満足」, 「やや満足」と答えている。特に土木工学系では「満足」と答えた学生が約9割になった。